

10/20 10/21

於：内膳春日神社



境内一杯に元気な顔…だんじり・模擬店・大神楽

ご挨拶

秋まつりが盛況の内に無事終了いたしました。実行委員会各位、並びに秋まつりに参加いただいた皆様に御礼を申し上げますと共に、今後とも自治会活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地縁団体 内膳町自治会 会長 梅村 信嘉

日頃は凜とした静寂さに包まれている境内も、まつりの両日ばかりは終日子供たちの元気な声が響き渡りました。

秋の地域イベント内膳秋まつり（主催・地縁団体内膳町自治会）は絶好の秋晴れとなった10月20日（土）、21日（日）の二日間、内膳春日神社境内を会場として行われました。

秋まつりアラカルト

重労働

ストラックアウト係員

開店直後に順番待ちになったのが新登場の「ストラックアウト」（写真上）。枠にはめ込まれた9枚のボード（約30センチ四方）を数センチ離れた地点から同数のフリスビーを投げて落とすゲームで、落とした枚数によって景品がもらえます。一回ゲームが終了するたび（約2分ごと）に係員は中腰で落とされたボードを拾って元



ました。行列の先頭を行くのは「せんとくん」。通りの声援に応え街の隅々に愛嬌をふりまくという楽しい巡行になりました。

一方、境内にとりわけ狭しと出店された模擬店には開店直後から人だかりができました。とりわけ増設されたゲームコーナーはストラックアウト、ジャンボサイコロ、輪投げの各ブースは何れも大人気。両日とも終了ぎりぎりまで賑わいました。

まつりの二日目21日（日）は大神楽の公演が行われました。午前9時半、二年振

いただきました。次回出店の際は大型加熱機の導入が必要かも…。

こんにやく班 「しつかり煮込みました」

もう一件食べ物ブースの話題。

初日、会場内のそこかしこから「味がしつかり染み込んでる」と評判だったのがおでん（こんにやく）。企画会議で委員の一人が「黒滝のこんにやくは美味しい」と発言したのが発端。それならと今回の出品になりました。この機会にそのレシピを紹介させていただきます。調味料はほんだし、ハイミー、昆布だし、みりん、砂糖、薄口醤油など一般的なものです。こんにやくを

りです」と親しみを込めた挨拶と共に、すっかり顔なじみとなった加藤菊太夫組の一行が神社に到着。世話役の引率で午前中、町内二十数回の角付け（戸別に家の前で舞うこと）を行った後、午後一時から拝殿前の広場で多くの観客が見守る中、国の重要無形民俗文化財に指定されている「伊勢大神楽」の演技が披露されました。

快適な秋空の下で行われた今年の秋まつりは、前年以上に多くの人出となりました。この地域挙げての賑わいが「絆」の前進に繋がることが願われます。

秋まつりのヒーロー？ ヒロイン？せんとくん

子供たちと戯れたり、一緒に写真に納まるなど大人気だった「せんとくん（写真下）」の体験後の話。「視野が狭く足元が見えませんが、だから歩く時には介添えが要りました。中の空気が入れ替わらないので時間が経つてくるとかなり暑くなりましたね…。じっとしているよりまだしも子供たちが相手をしてくれているほうが気がまぎれました。でも何より子供たちが喜んでくれたことが一番です」と語ってくれました。



「まだまだ…」 89歳 田中さん

秋まつりの実行委員の最高齢者は田中利之さん。大正12年生まれの御年89歳。今回は大神楽一行の世話役(町まわりの引率や食事の差配など)を受け持たれました。そんな田中さんに神社にまつわる話をお聞きすると、開口一番「この神社で昭和18年に出征を見送ってもらいましたよ。入隊先は大阪の高射砲連隊。米軍の飛行機が高いところを飛ぶので玉が届きませんでしたわ。」と戦争体験を語られました。まつりの思い出は…

秋まつり人、人…

「宴(縁)の下努力」

盛況に開催された今年の秋まつり。「にぎわい」の要因の一つに、バラエティに富んだ模擬店の出店が挙げられます。出店計画は8月から実行委員会の企画部委員が意見を出し合って練られました。準備から本番まで企画部の役務は多用です。模擬店ごとの食材の購入や調理器具の調達。遊具の借り入れ交渉、運搬そして設営。その他各種ゲーム用の景品購入、係員の配置等々数えればきりがありません。イベント開催中も各ブースに目を配り、品物の補充やトラブル

の問いには「その当時はお神輿をかつぎました。若い者が少なかったので近隣の村に応援を頼んだ。ところが、祝い酒が入った状態で幅の狭い道を右に左によろけながら歩くので、応援の担ぎ手が通行人と小競り合いになりましたね…。巻き添えを食ったことがありますよ」と威勢の良かった頃の話を懐かしく話されました。今も、総会、地域のまつり、カラオケ大会など自治会や善寿会の催しには必ず元気な顔を出されます。そんな田中さんに健康の秘訣は?と聞くと「天氣の悪い日以外は、ゲートボールをするために毎朝7時に今井町へ行きます。それとお酒やね」と陽気に応えて下さいました。これからも地域のご意見番としての活躍をお願いします。

企画部委員

への対応など裏方に徹した二日間でした。まつりの翌日10月22日に大阪四天王寺で、ことわざ「縁の下力持ち(人知れず密かに努力すること)」の由来となった経供養「縁の下舞※」が執り行われています。それより一日早い21日に、内膳町では秋まつり実行委員会・企画部委員によって「宴(縁)の下努力」が実践されました。 ※お経が伝わったことを記念して行われてきた法事。近年まで非公開で衆人の目に触れず密に行われてきた舞楽。(Y紙より)

秋まつり写真展開催!

11月17日(土)・18日(日) 場所:すみれホール5階

10:00~16:00

L版:20円
2L版:30円
A4サイズ:200円

写真展に展示を予定しています写真の一部を、秋まつり特集号で先行紹介しました。当日は約150枚のスナップ写真を展示いたします。是非ご来場いただき「24年度秋まつり」を振り返っていただきますようお願いいたします。なお、展示写真を実費で販売致します。



内膳町 秋まつり 写真集

